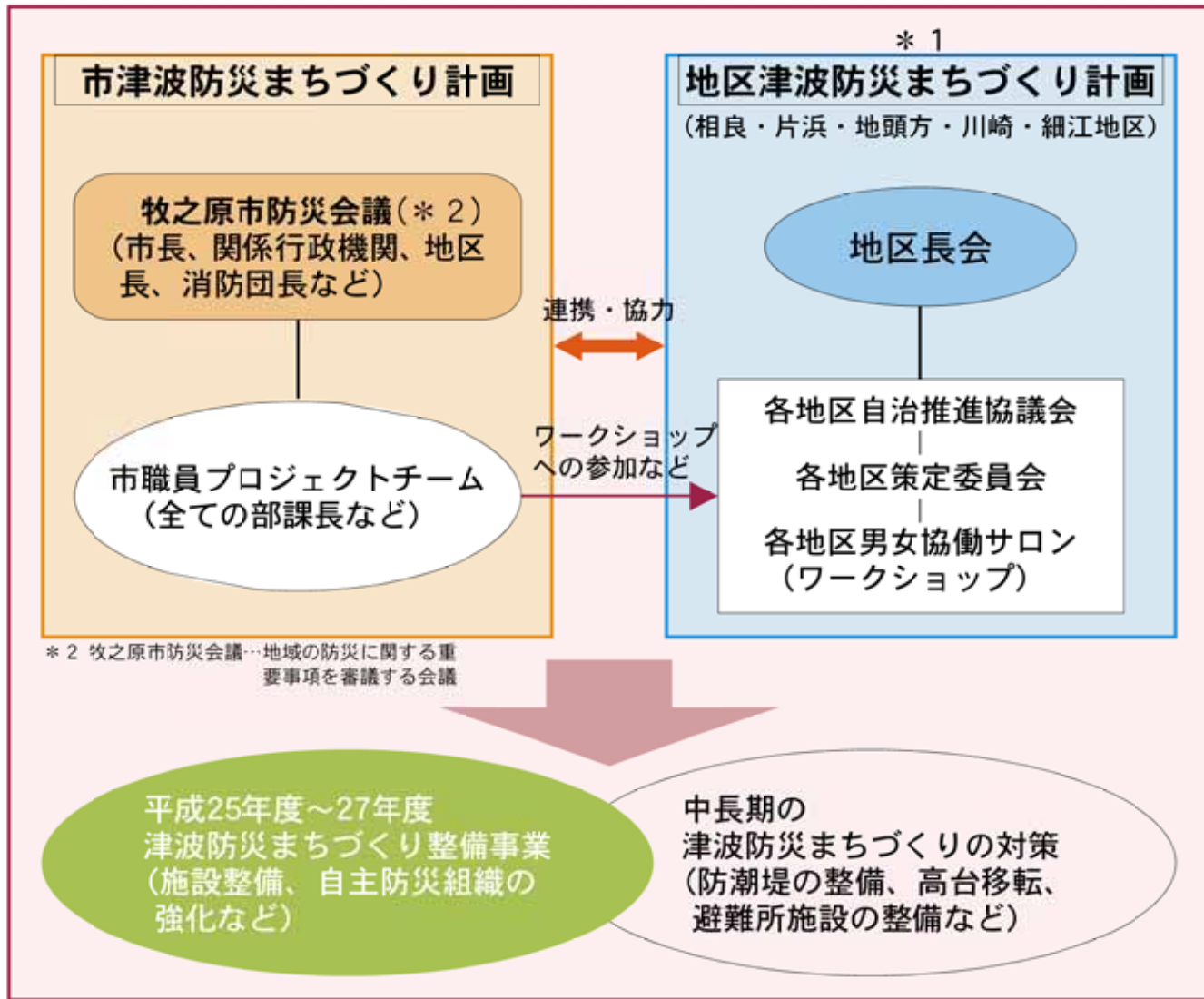


牧之原市津波防災まちづくり計画全体イメージ



*2 牧之原市防災会議…地域の防災に関する重要事項を審議する会議



津波避難訓練の様子(細江小)

津波防災まちづくり 計画を策定します

国は今年3月、南海トラフの巨大地震による各地域の津波高を公表。本市で予想される高さは、12・3mと今までの予想を大きく上回りました。県では、東海・東南海・南海の三つの地震が連動して起こるとされている、三連動地震を踏まえた第四次地震被害想定を現在、策定しています。市は、沿岸部5地区の「津波防災まちづくり計画」を策定し、それらを基に施設整備や活用方法などを盛り込んだ市の「津波防災まちづくり計画」を策定し、災害に強いまちづくりを目指していきます。

問い合わせ 防災課 森田
☎(23) 0056

計画の基本方針

① 津波浸水予想区域では、地震津波災害から市民の命を守る

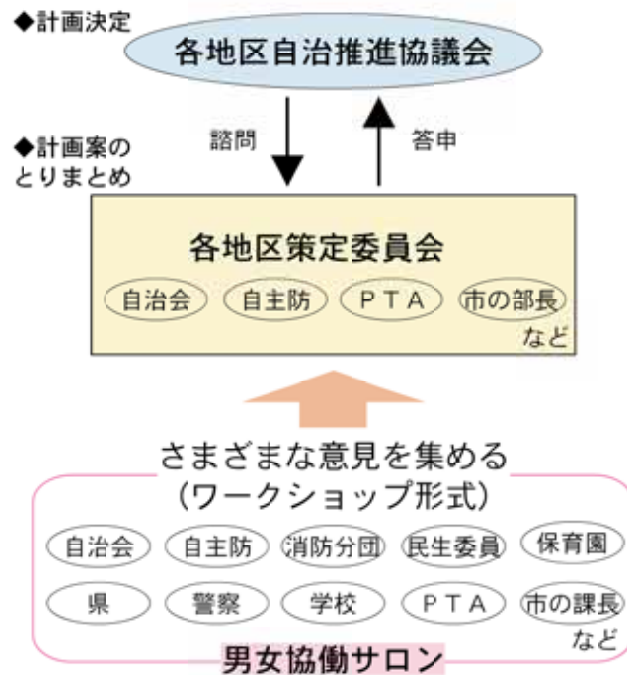
策定スケジュール

- 地区津波防災まちづくり計画 [7月]
- 5地区の策定委員会による検討を開始 [8月]
- 5地区の男女協働サロンによる検討を開始 [9月]
- 現地調査 [9月]
- 中間報告 [12月]
- 平成25年3月 地区津波防災まちづくり計画の策定

- 避難路、避難ビルの指定
- 避難タワー、高盛土(いのち山)の整備 など
- 津波浸水予想区域外では避難地の整備
- 避難所となる小中学校への緊急時電源の確保 など
- ソフト対策
- 防災教育、防災訓練の充実
- 住宅の耐震化、家具の固定の推進 など

- 市の計画では、これまでの津波対策に加えて、県が解析している各地点ごとの詳細な地震動や津波高など、被害のシミュレーション(想定)を取り込み、具体的に地区ごとの被害状況をまとめます。それらを基に今年度中に策定し、平成25年度から27年度の3年間で国の補助金を活用して、津波避難タワーやいのち山などの施設整備を含めた津波対策を進めていきます。
- 画の策定
- 市津波防災まちづくり計画 [9月末]
- 県が地震動、津波高を公表 [12月]
- 市民説明会(津波対策など) [平成25年3月]
- 津波防災まちづくり計画の策定 [5月]
- 市民説明会(計画説明)

*1 地区津波防災まちづくり計画策定イメージ図



地区との連携・協力

今年の4月に市内10の小学校区ごとに結成した「地区自治推進協議会」のうち、沿岸部の5地区(相良・片浜・地頭方・川崎・細江地区)において、それぞれの地区の実情や課題に合った「地区津波防災まちづくり計画」を策定し、市の津波防災まちづくり計画と連携をしていきます。

地区では、各団体などから選出された皆さんがワークショップ形式で意見交換を行い、地区の行動計画として取りまとめます。



川崎地区の策定委員会での検討の様子

全5地区は、7月に第1回策定委員会を開き、今後の進め方やワークショップの準備などの検討を行いました。